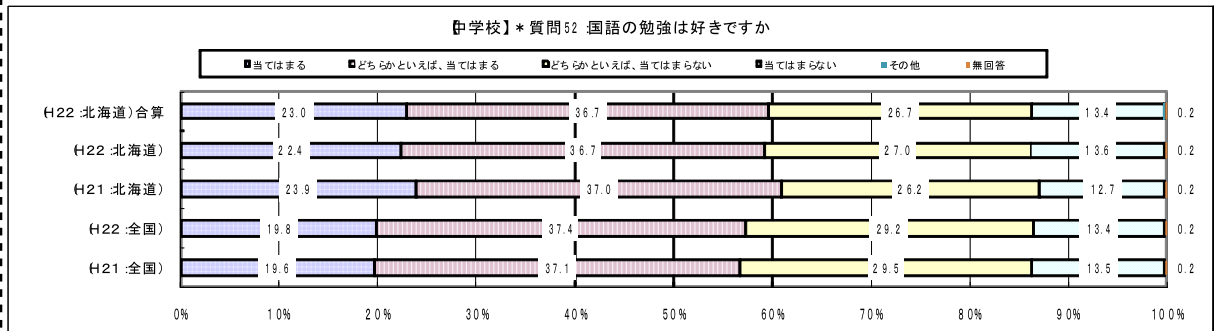
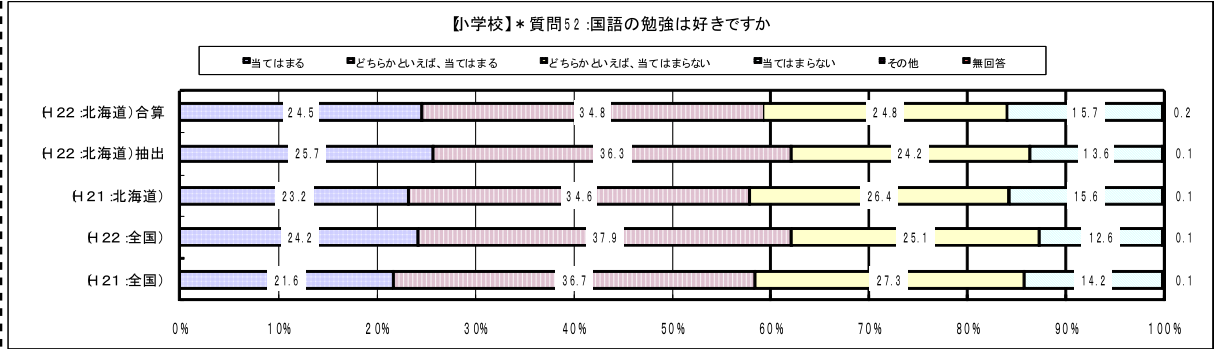


質問紙調査（抽出＋希望利用）

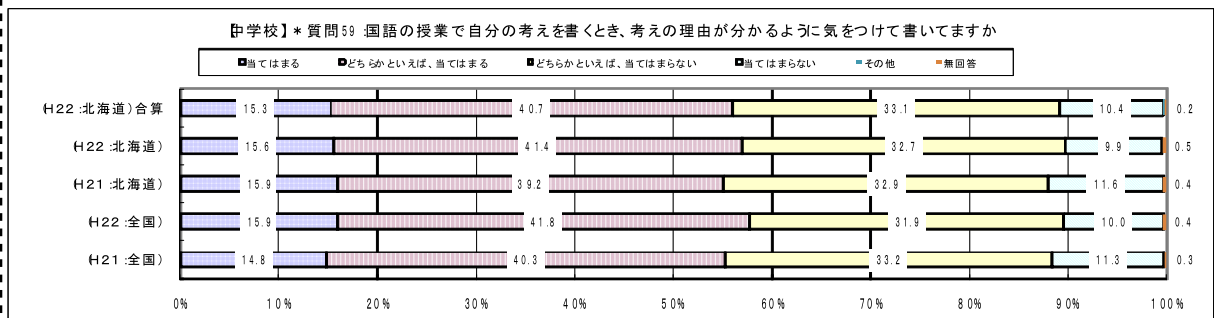
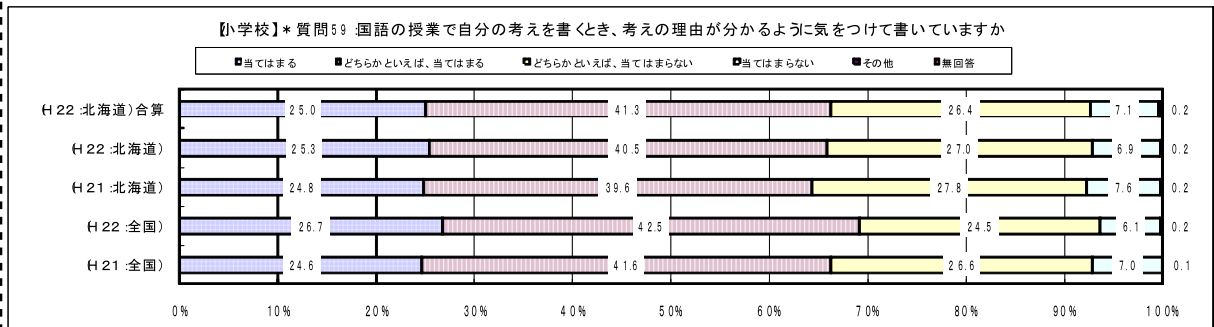
○ 児童生徒質問紙

<学習に対する関心・意欲・態度>

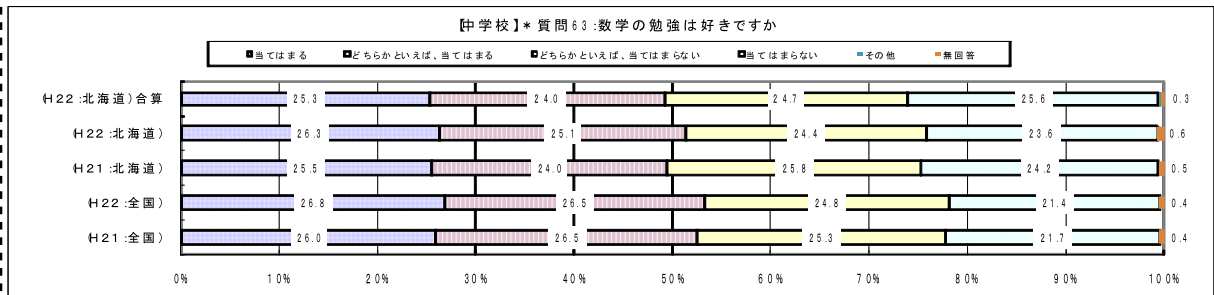
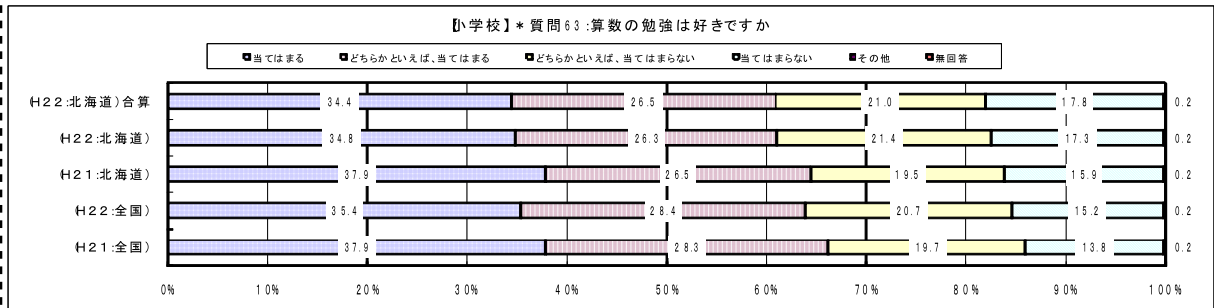
○北海道（合算）の結果では、国語の勉強が好きな児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査及び中学校調査において、同様の傾向が見られる。



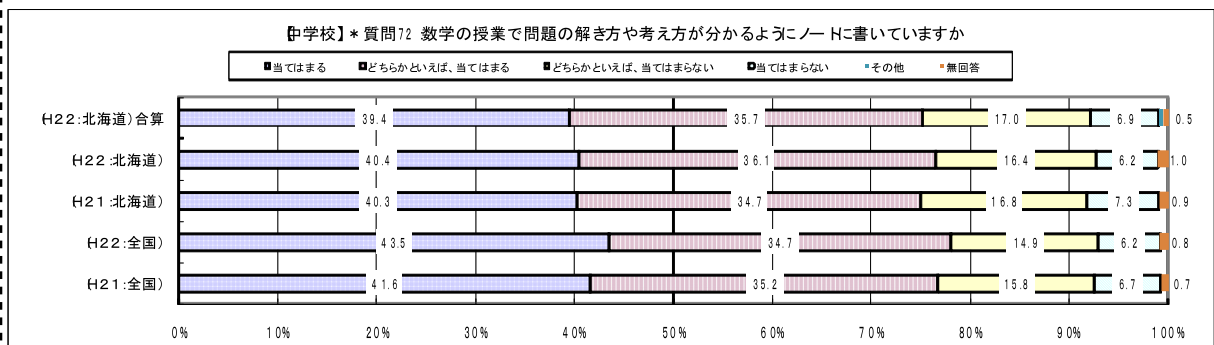
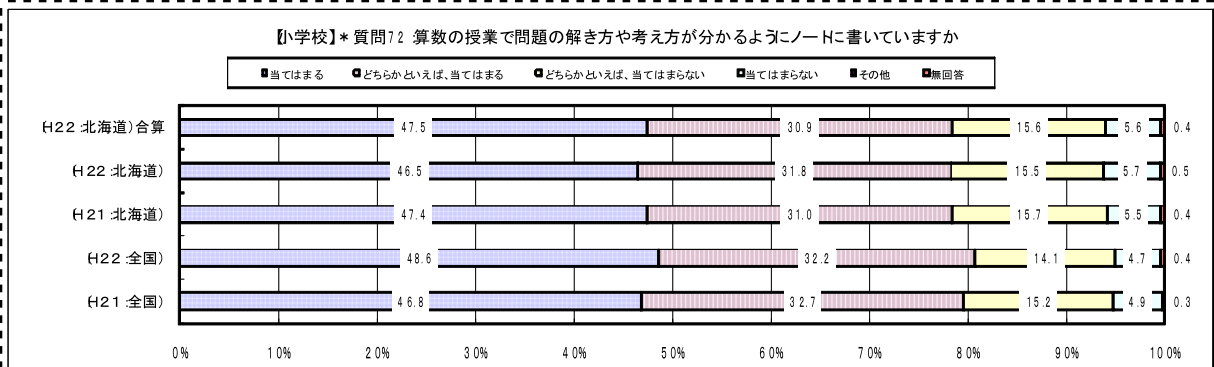
○北海道（合算）の結果では、国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いている児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査及び中学校調査において、同様の傾向が見られる。



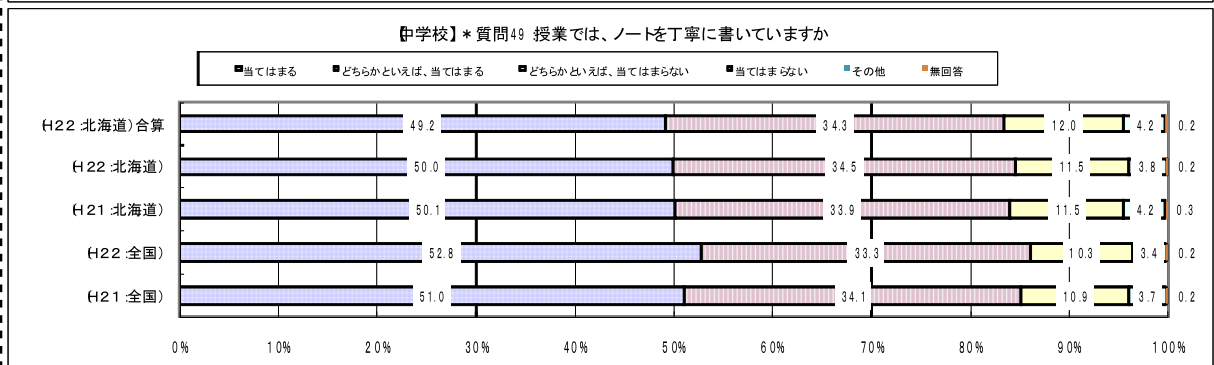
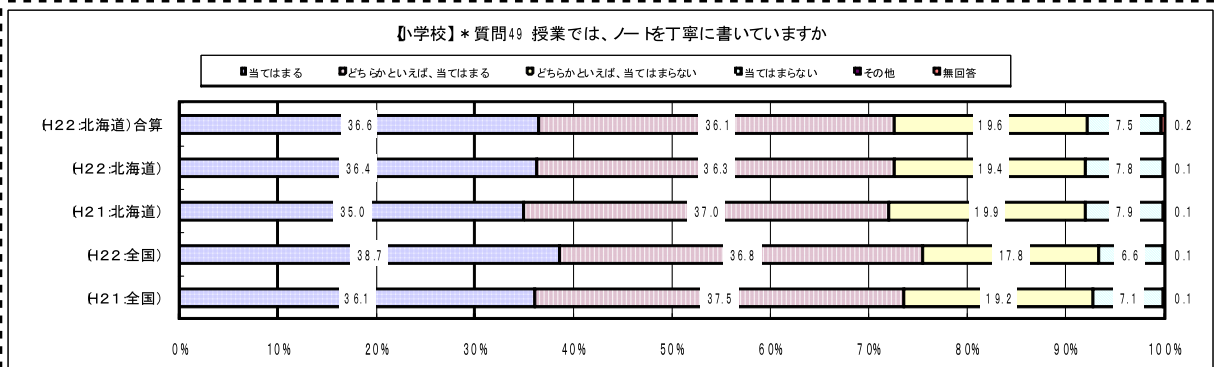
○北海道（合算）の結果では、算数・数学の勉強が好きな児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査において、同様の傾向が見られ、中学校調査において、4.0ポイント低い。



○北海道（合算）の結果では、算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようノートに書いている児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査において、同様の傾向が見られ、中学校調査において、3.1ポイント低い。

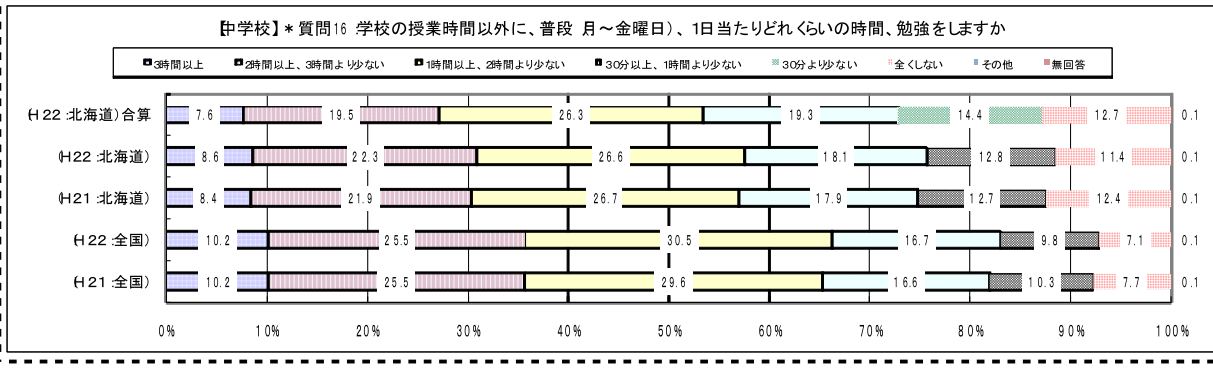
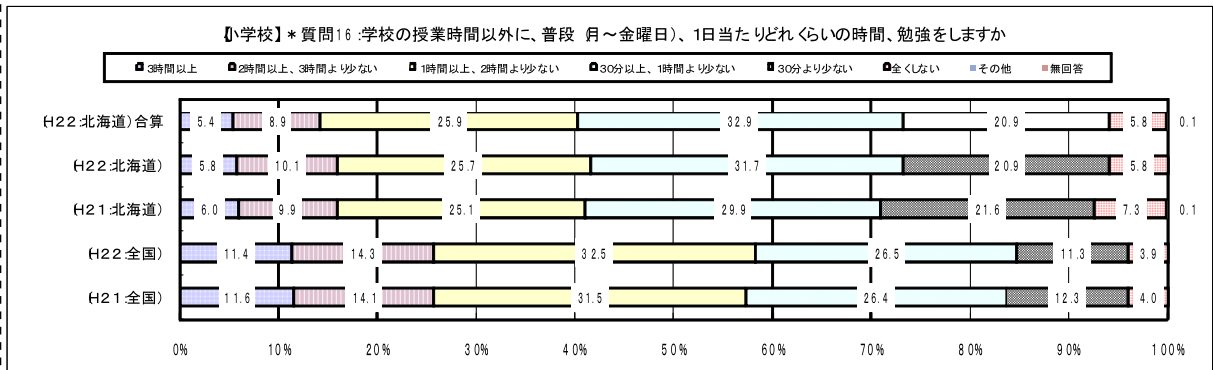


○北海道（合算）の結果では、授業でノートを丁寧に書いている児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査及び中学校調査において、同様の傾向が見られる。

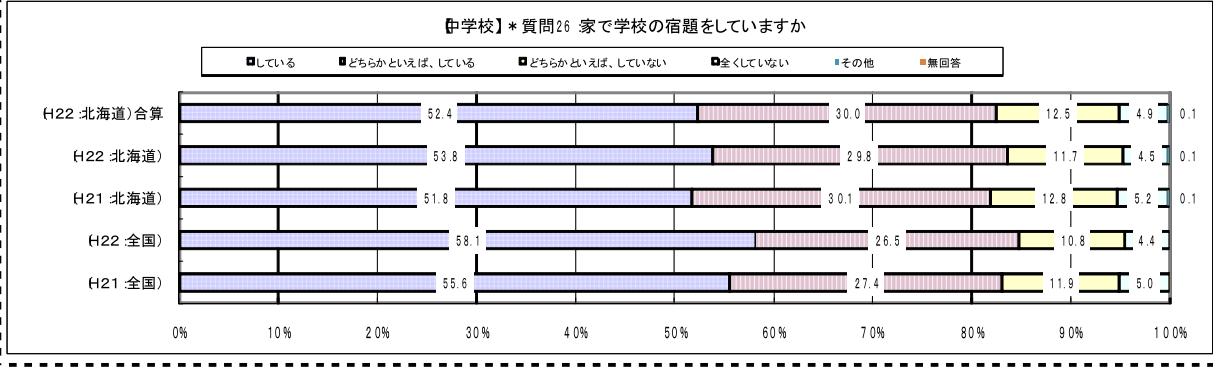
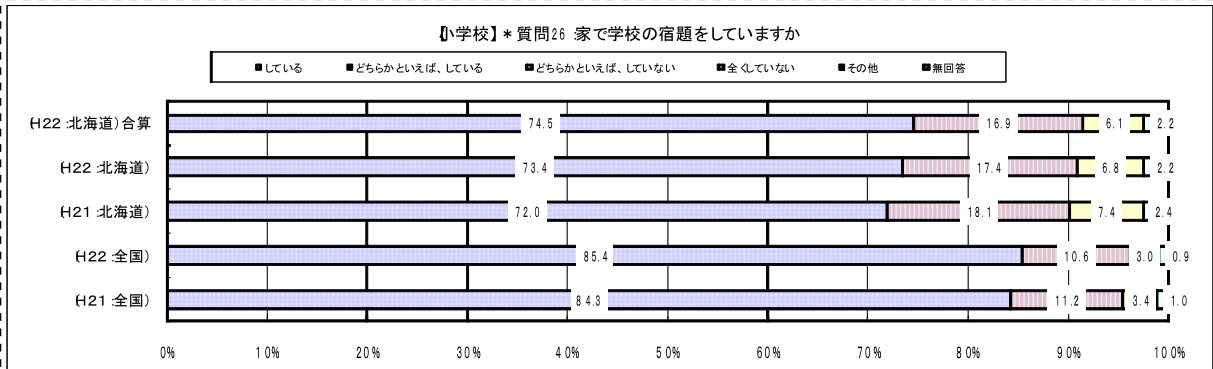


<学習時間等>

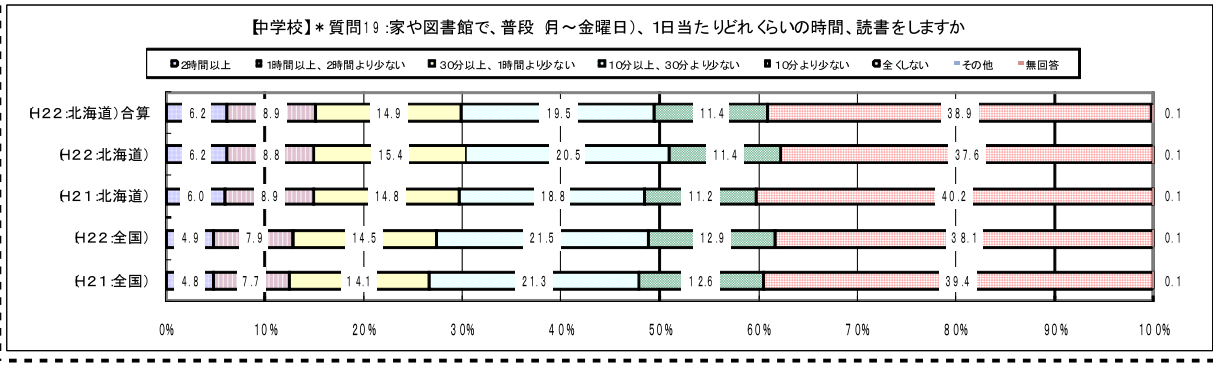
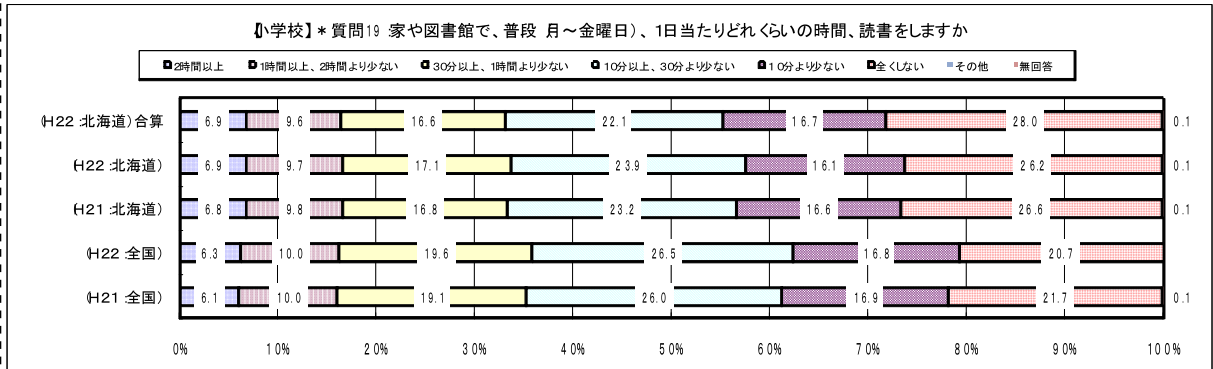
○北海道(合算)の結果では、1日当たり1時間以上勉強する児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査において、18.0ポイント低く、中学校調査において、12.8ポイント低い。



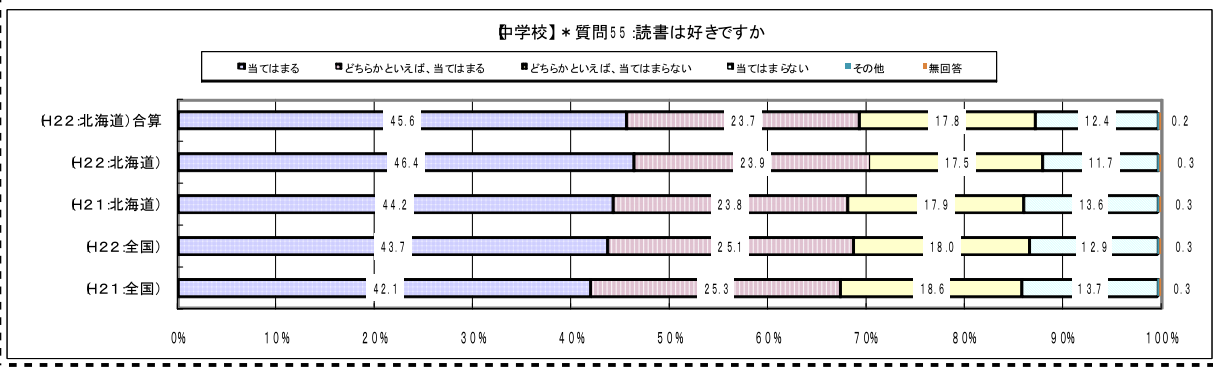
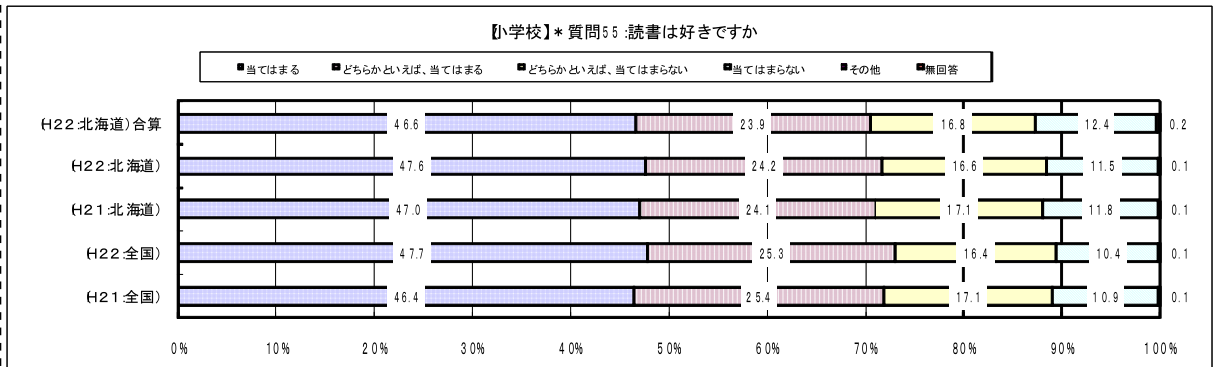
○北海道(合算)の結果では、家で学校の宿題をする児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査において、4.6ポイント低く、中学校調査において、同様の傾向が見られる。



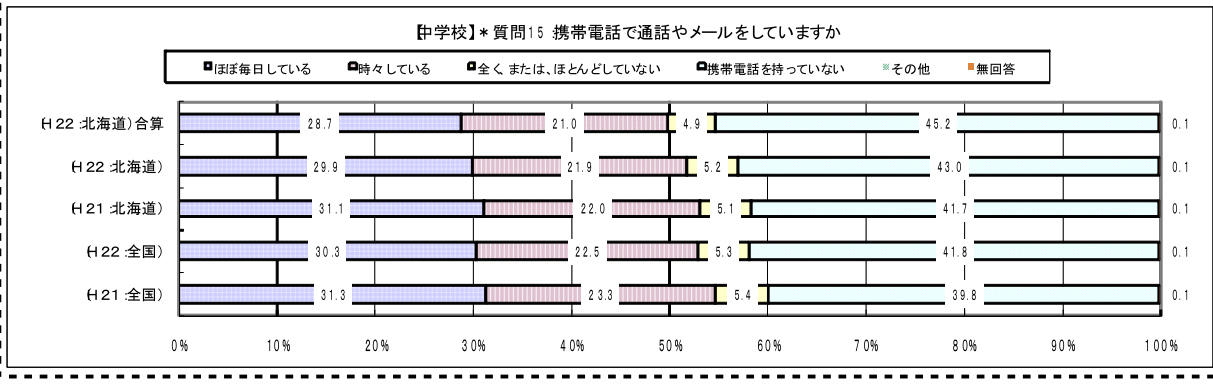
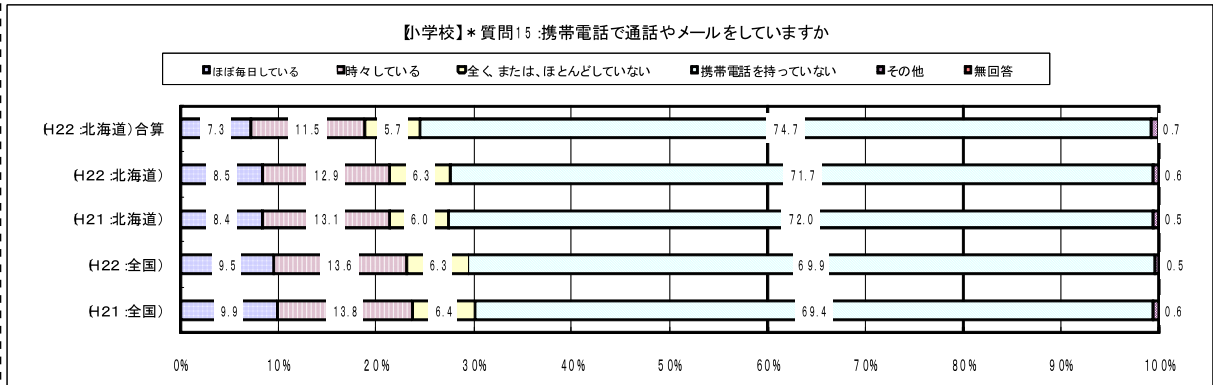
○北海道（合算）の結果では、1日に10分以上読書をする児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査において、7.2ポイント低く、中学校調査において、同様の傾向が見られる。



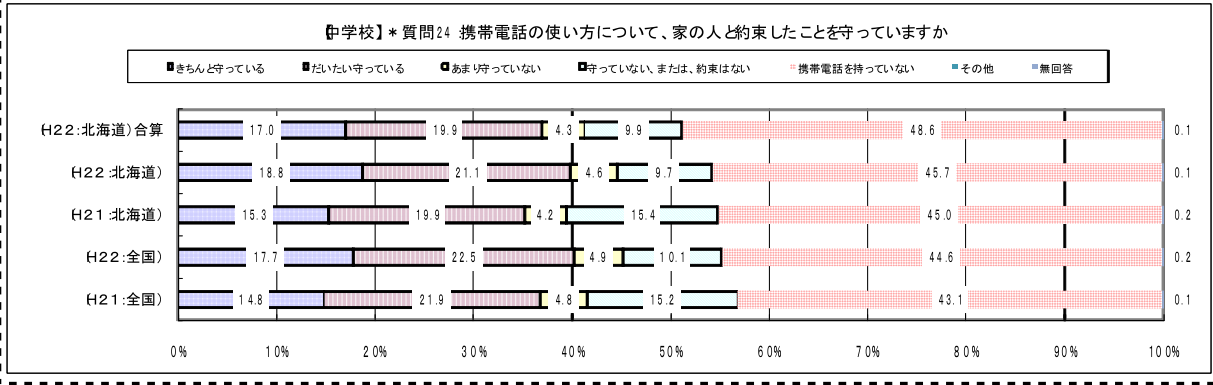
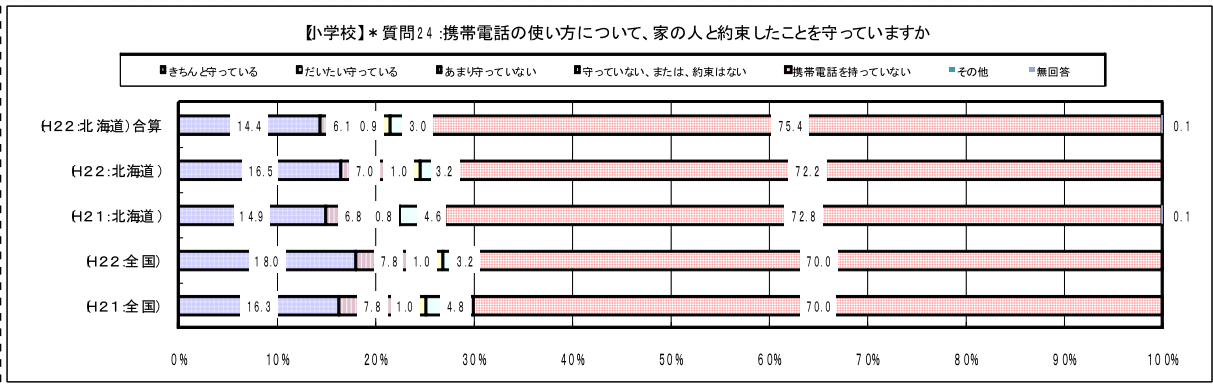
○北海道（合算）の結果では、読書が好きな児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査及び中学校調査において、同様の傾向が見られる。



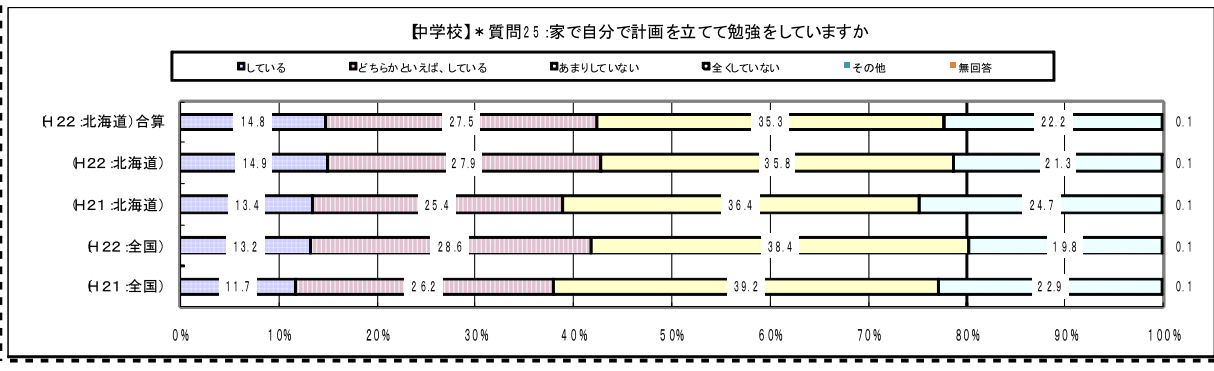
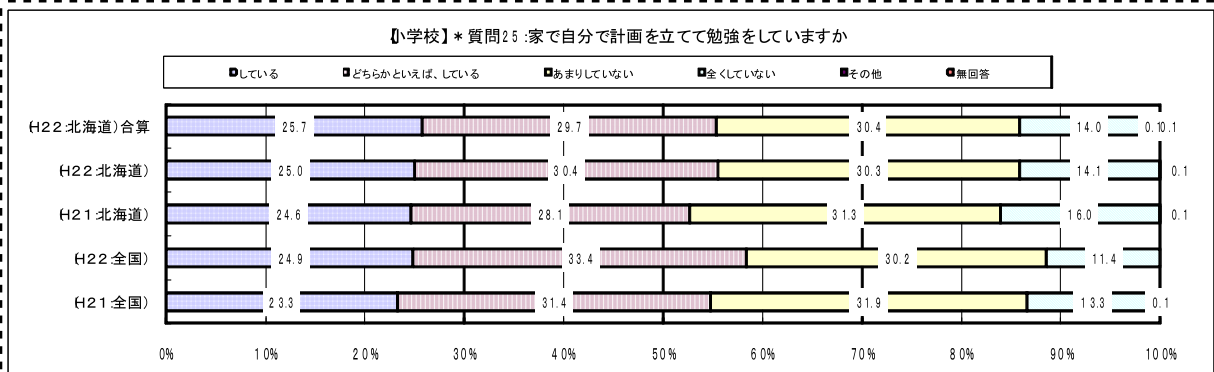
○北海道（合算）の結果では、携帯電話で通話やメールをしている児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査において、4.3ポイント低く、中学校調査において、3.1ポイント低い。



○北海道（合算）の結果では、携帯電話の使い方について、家の人と約束したことを守っている児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査において、5.3ポイント低く、中学校調査において、3.3ポイント低い。

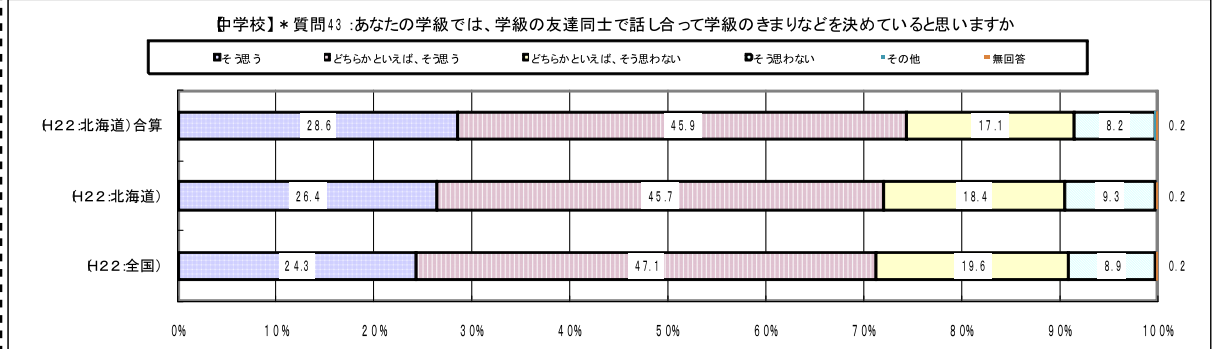
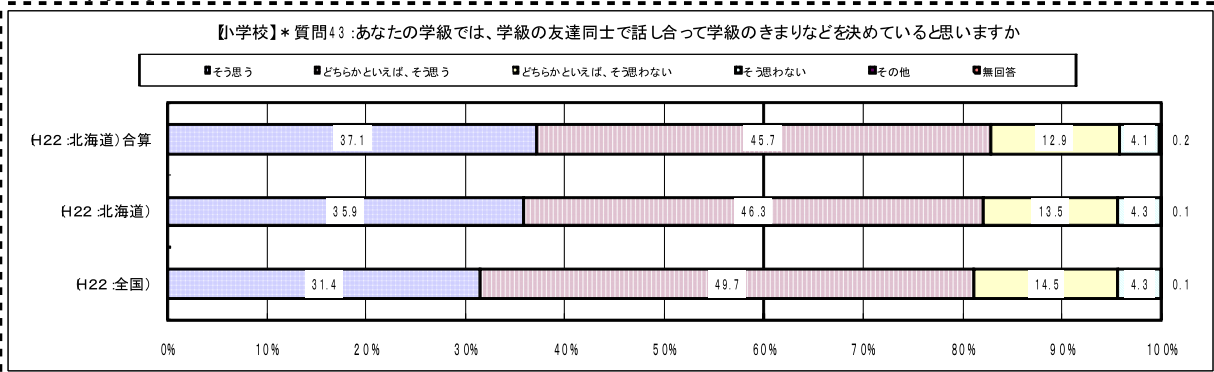


○北海道(合算)の結果では、家で自分で計画を立てて勉強をしている児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査及び中学校調査において、同様の傾向が見られる。



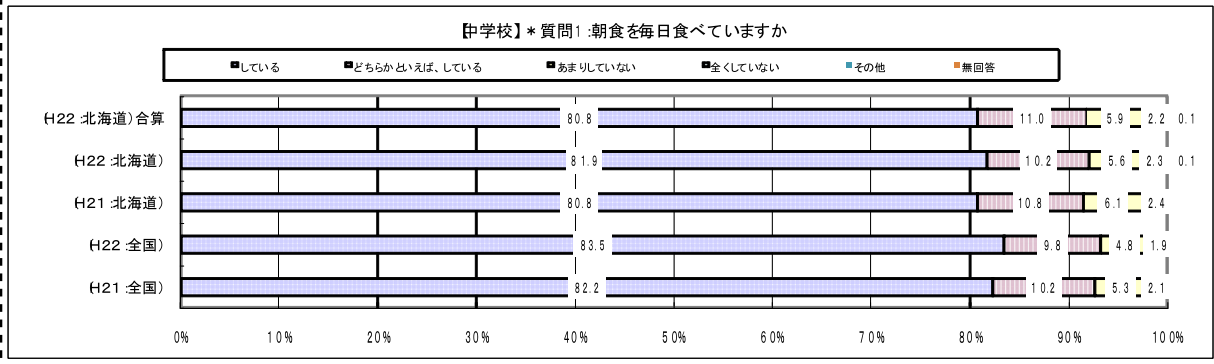
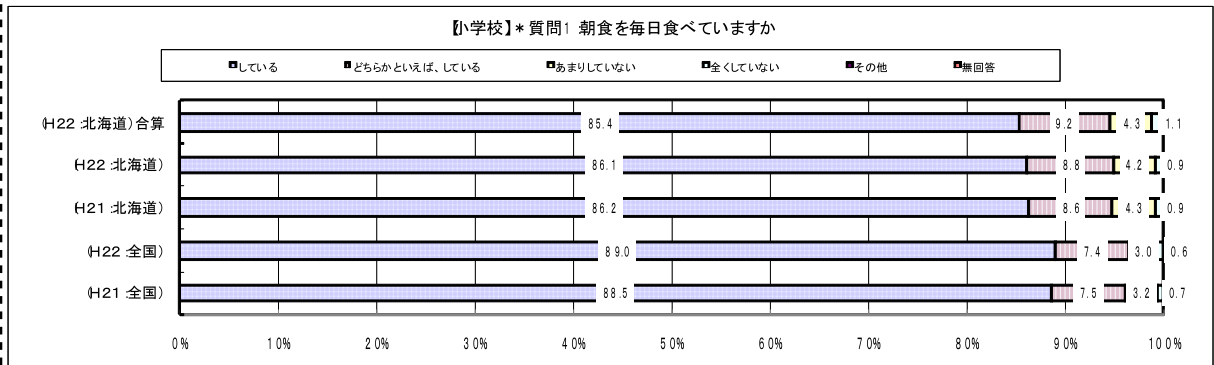
< 学校生活等 >

○北海道(合算)の結果では、学級のきまりなどを友達同士で話し合って決めていると思う児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査において、同様の傾向が見られ、中学校調査において、3.1ポイント高い。



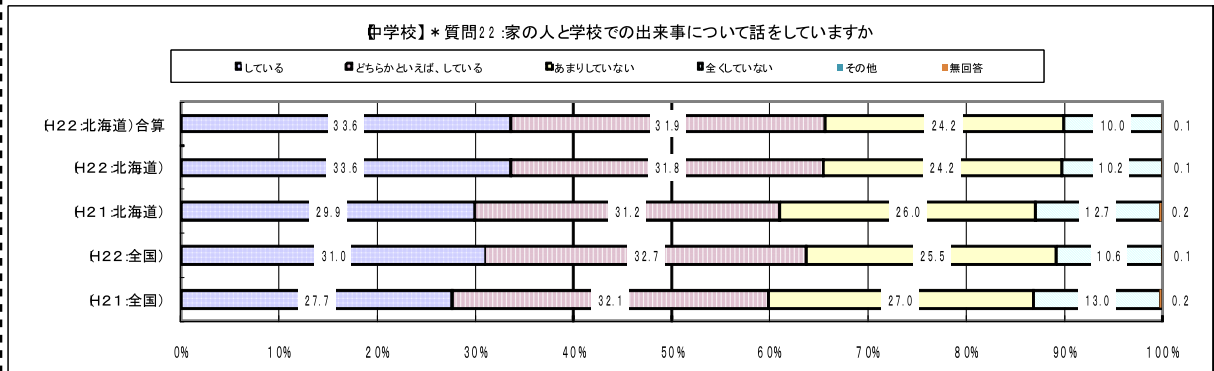
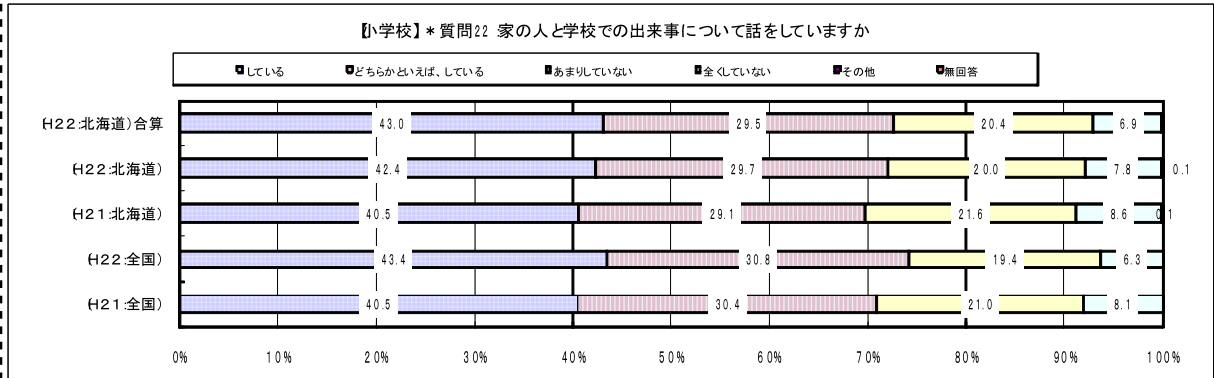
< 基本的生活習慣 >

○北海道(合算)の結果では、朝食を毎日食べる児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査及び中学校調査において、同様の傾向が見られる。



< 家庭でのコミュニケーション >

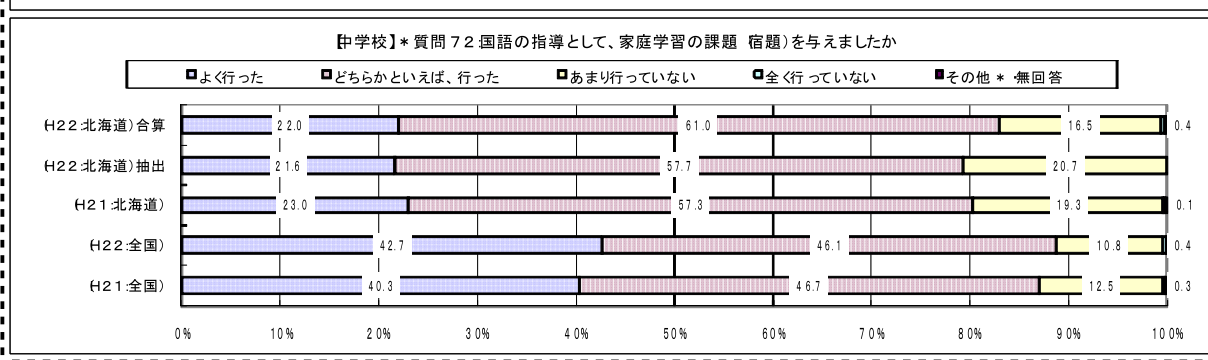
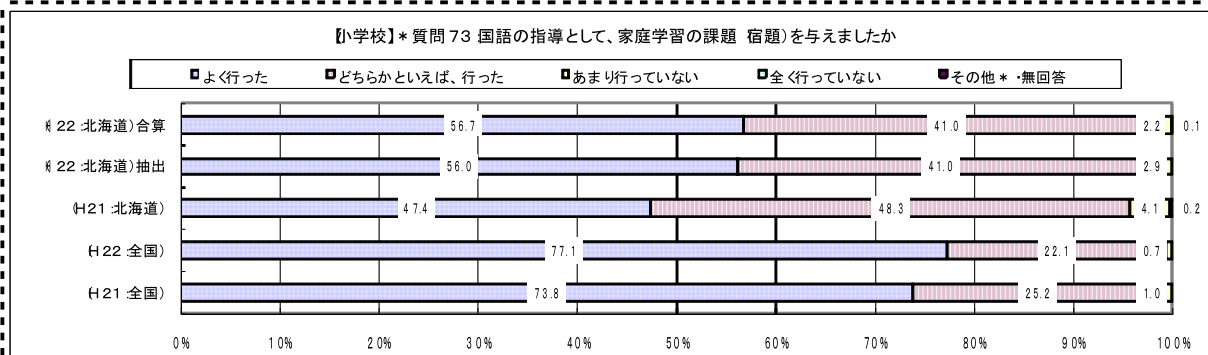
○北海道(合算)の結果では、家の人と学校での出来事について話をする児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査及び中学校調査において、同様の傾向が見られる。



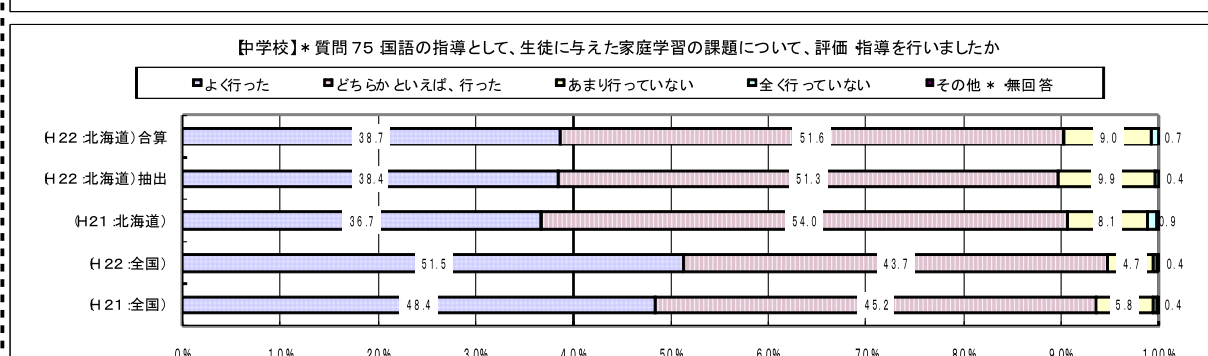
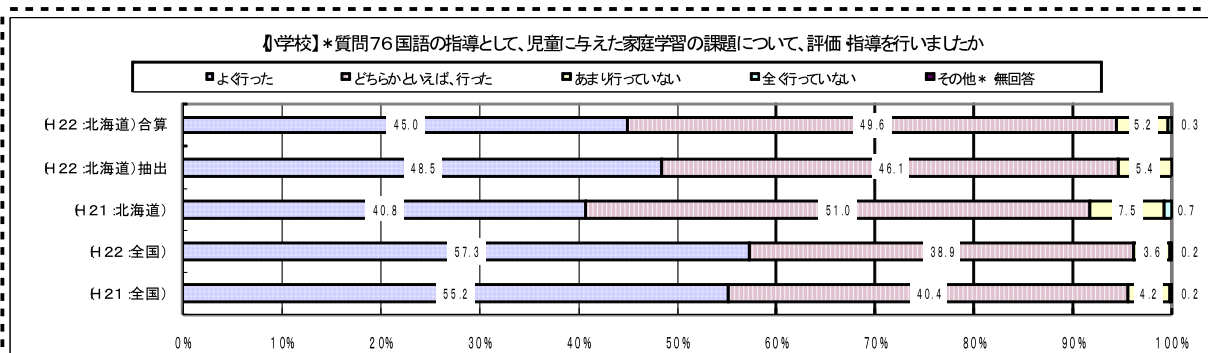
○ 学校質問紙

<家庭学習・家庭との連携>

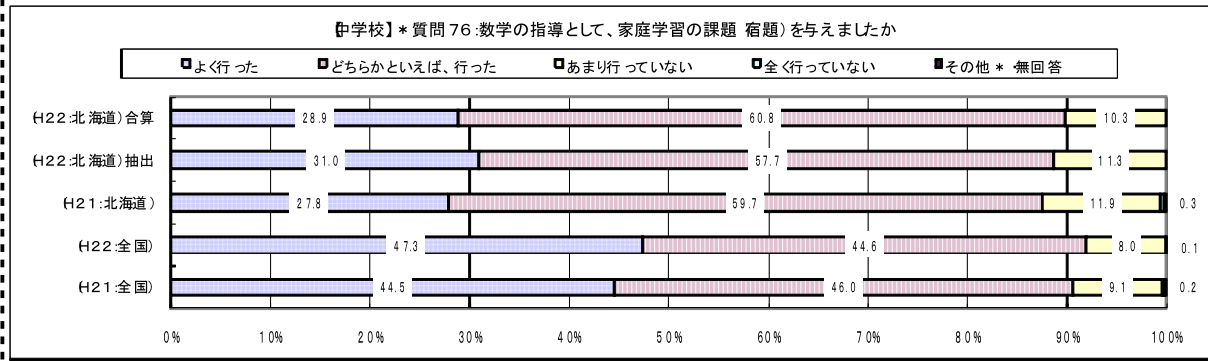
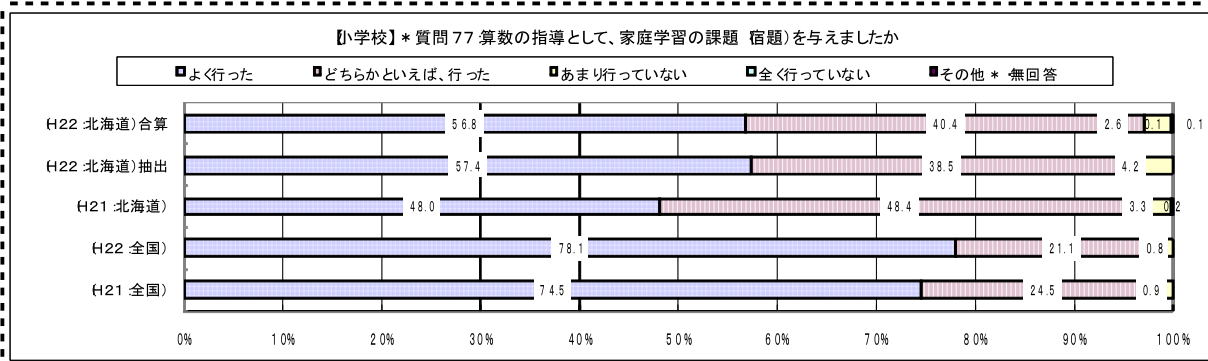
○北海道(合算)の結果では、国語の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えた学校の割合は、全国と比べて、小学校調査において、同様の結果が見られ、中学校調査において、5.8ポイント低い。



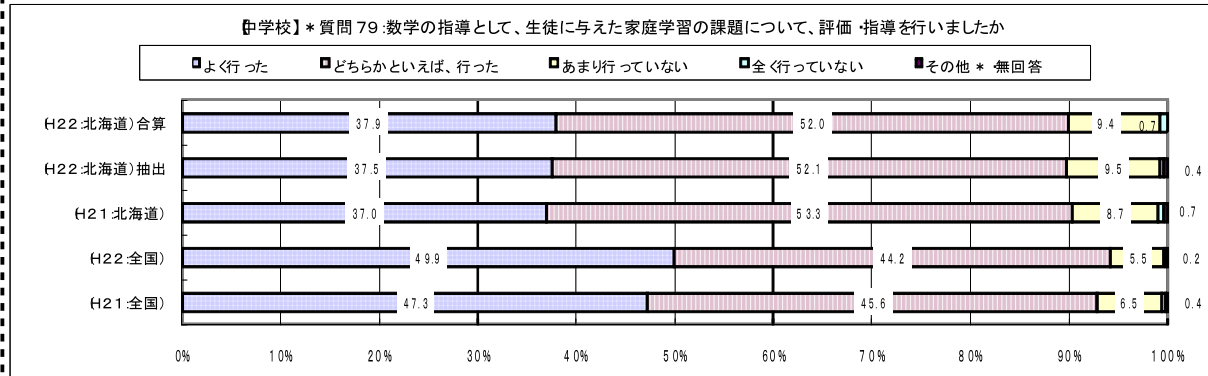
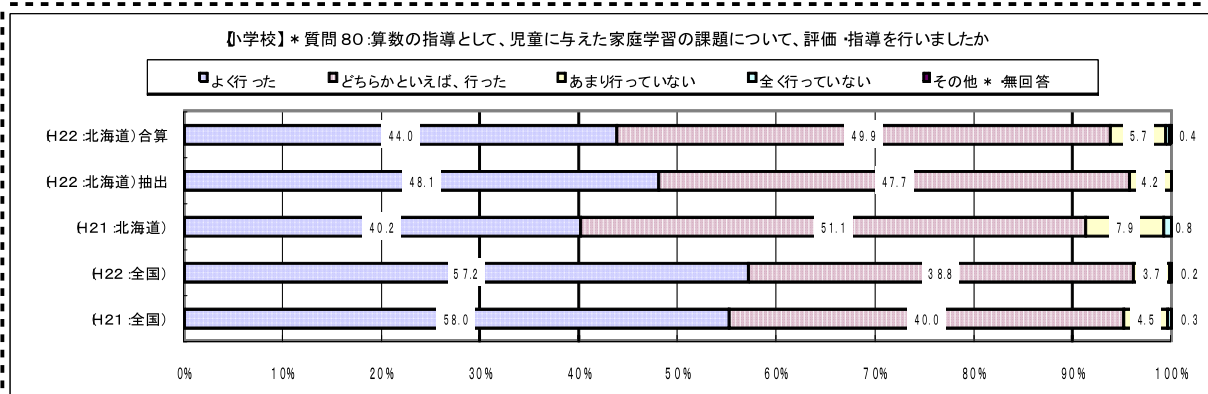
○北海道(合算)の結果では、国語の指導として、児童生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導を行った学校の割合は、全国と比べて、小学校調査において、同様の結果が見られ、中学校調査において、4.9ポイント低い。



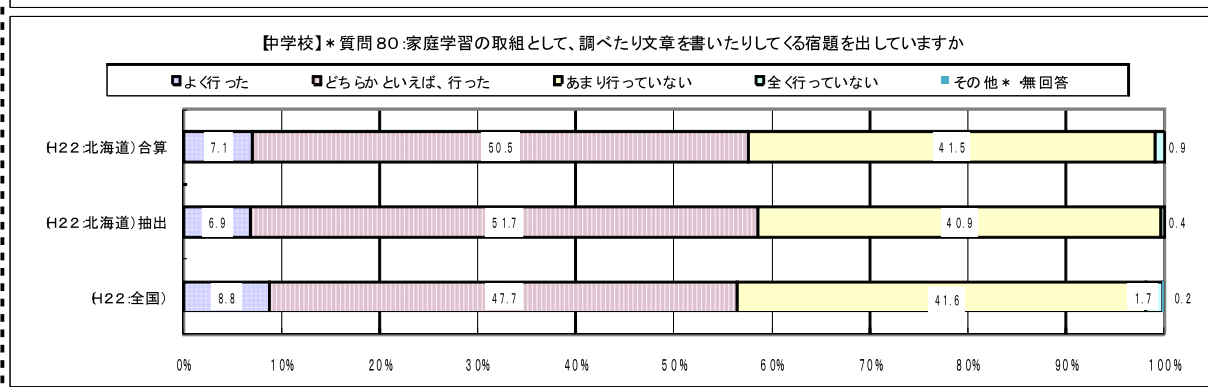
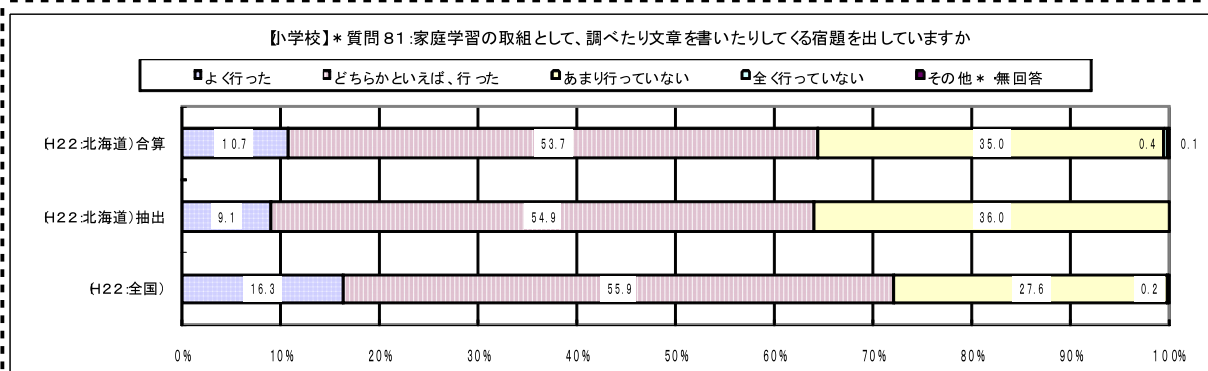
○北海道(合算)の結果では、算数・数学の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えた学校の割合は、全国と比べて、小学校調査及び中学校調査において、同様の傾向が見られる。



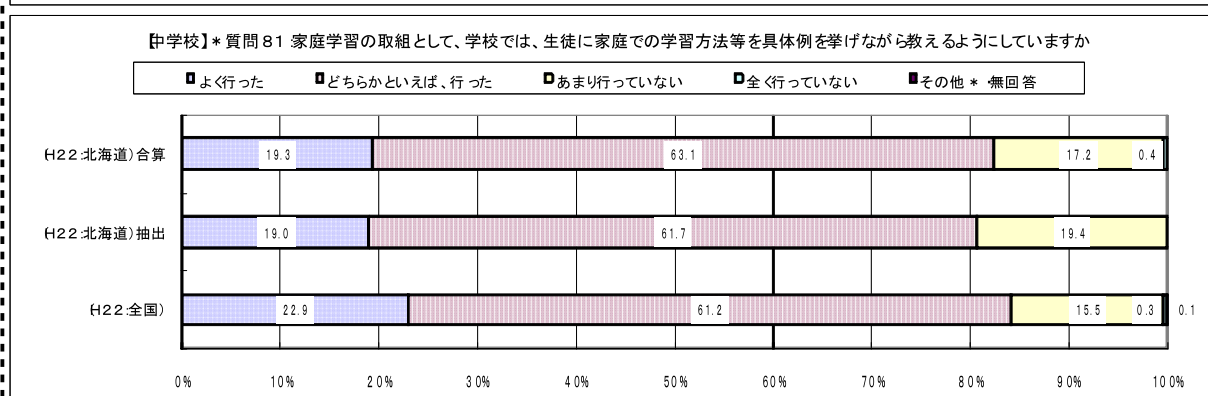
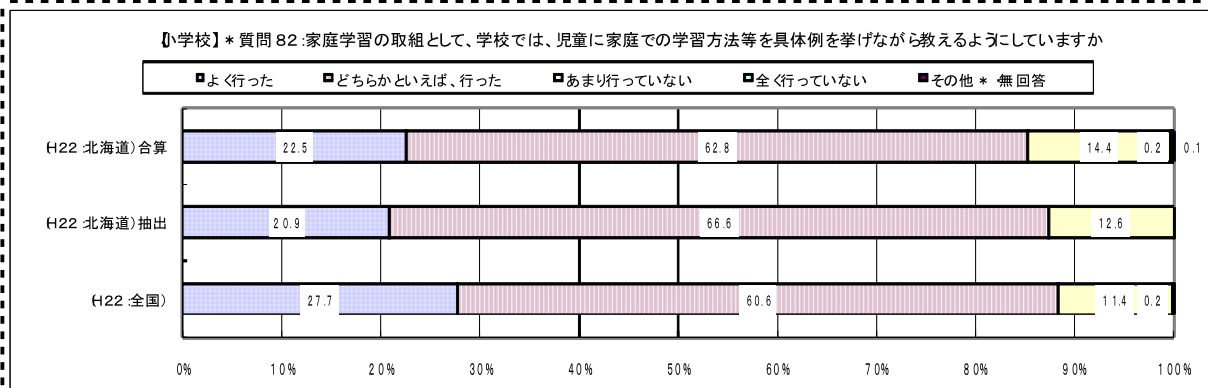
○北海道(合算)の結果では、算数・数学の指導として、児童生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導を行った学校の割合は、全国と比べて、小学校調査において、同様の結果が見られ、中学校調査において、4.2ポイント低い。



○北海道(合算)の結果では、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりして来る宿題を出している学校の割合は、全国と比べて、小学校調査において、7.8ポイント低く、中学校調査において、同様の傾向が見られる。

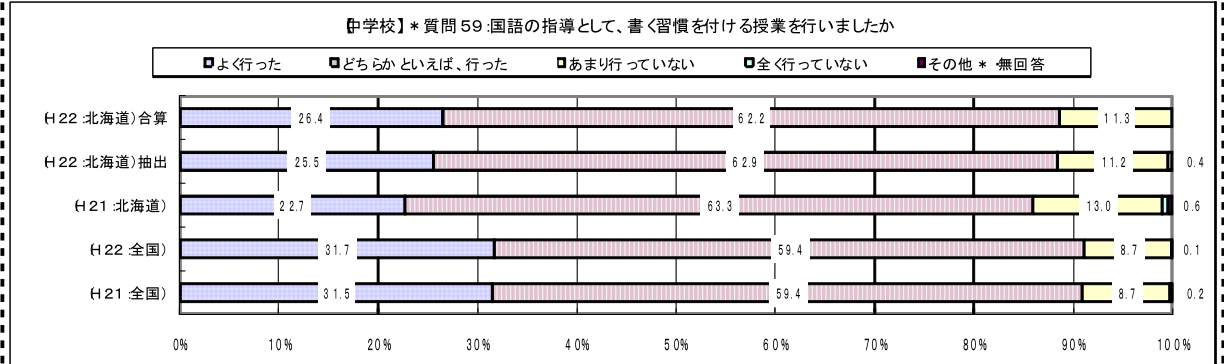
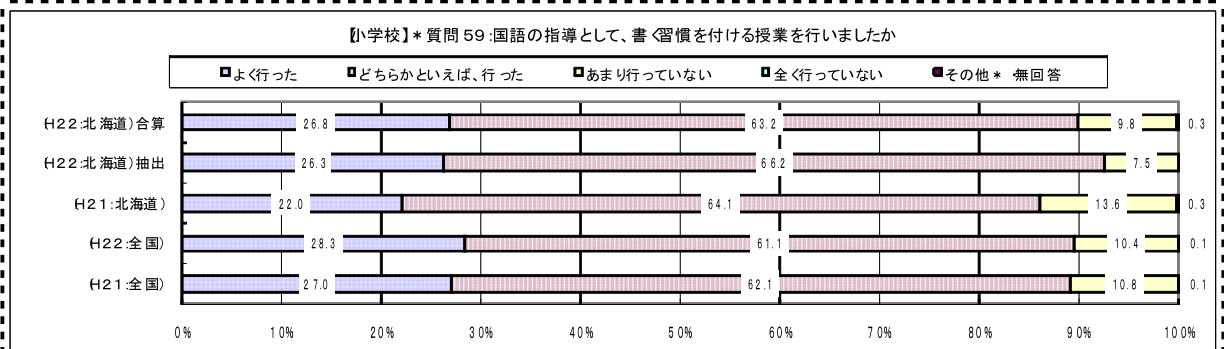


○北海道(合算)の結果では、家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしている学校の割合は、全国と比べて、小学校調査において、3.0ポイント低く、中学校調査において、同様の傾向が見られる。

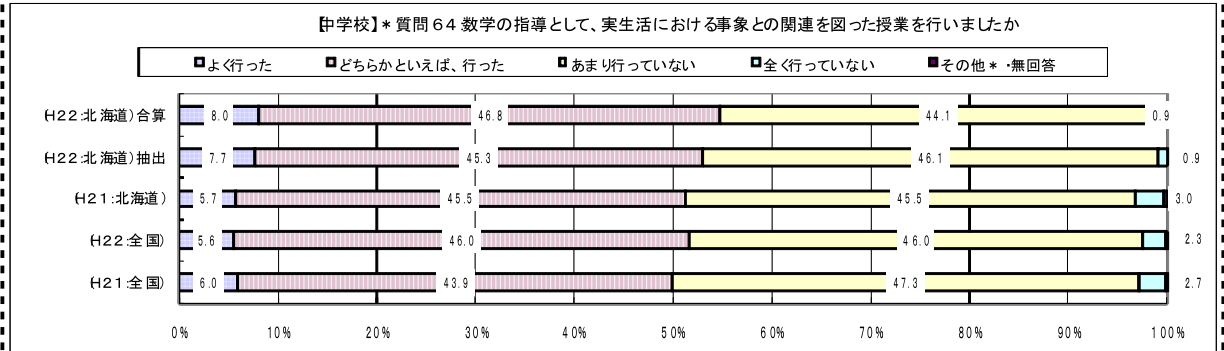
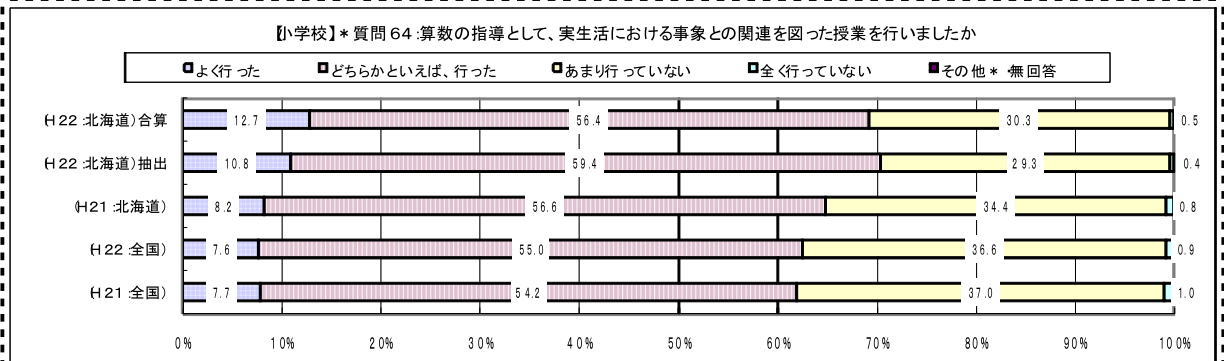


< 指導方法 >

○北海道(合算)の結果では、国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行っている学校の割合は、全国と比べて、小学校調査及び中学校調査において、同様の傾向が見られる。

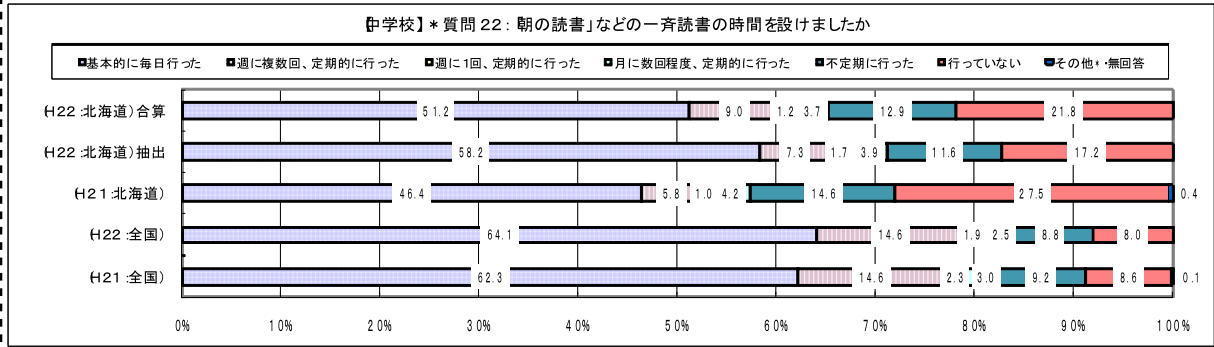
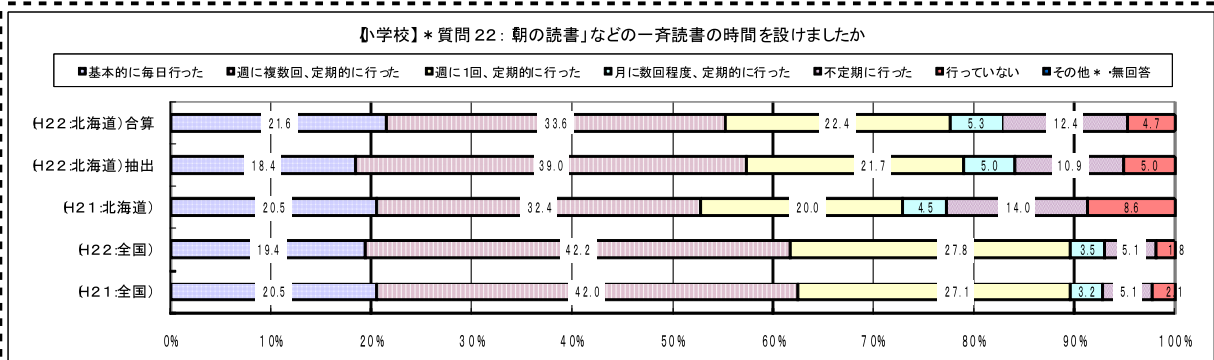


○北海道(合算)の結果では、算数・数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った学校の割合は、全国と比べて、小学校調査において、6.5ポイント高く、中学校調査において、3.2ポイント高い。

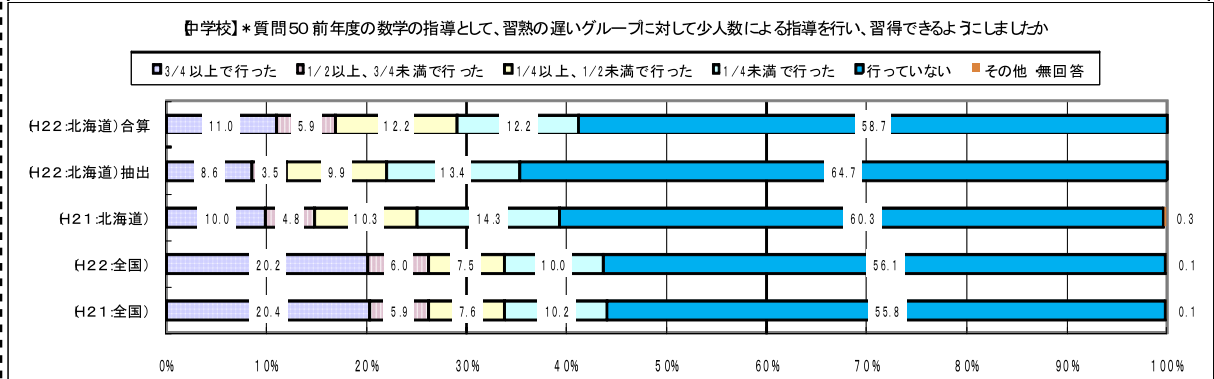
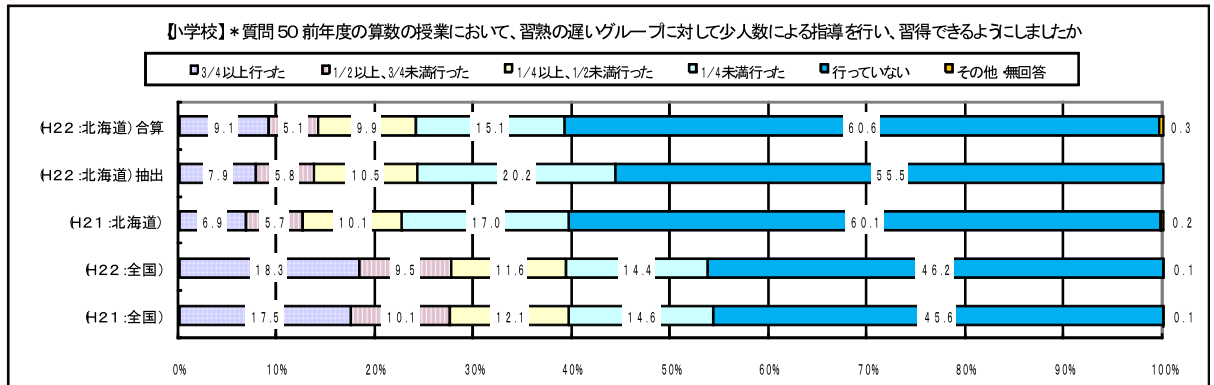


<学力向上に向けた取組等>

○北海道(合算)の結果では、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けている学校の割合は、全国と比べて、小学校調査において、同様の傾向が見られ、中学校調査において、13.8ポイント低い。

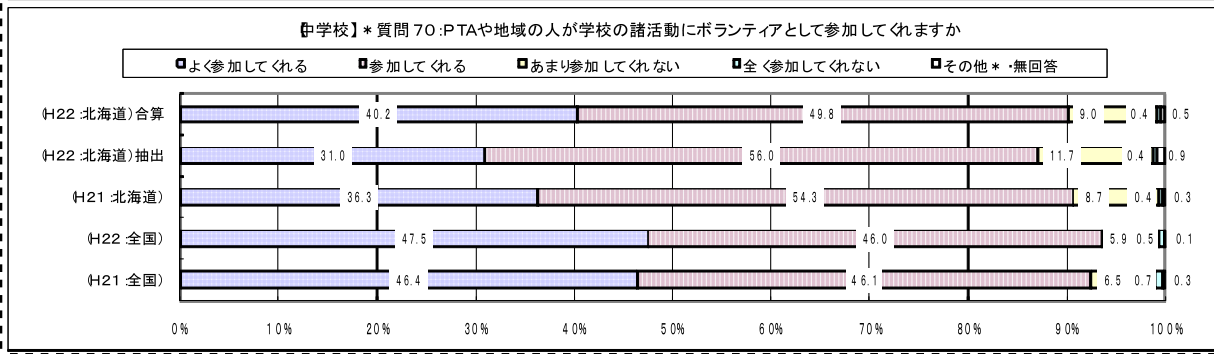
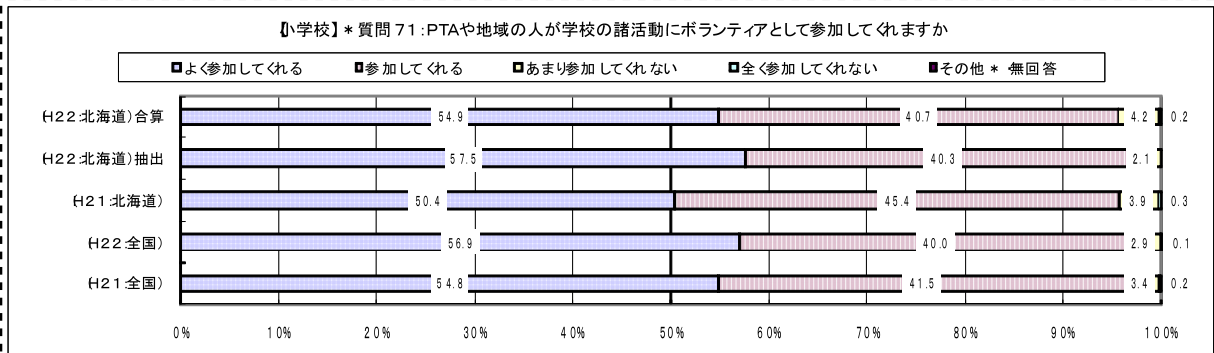


○北海道(合算)の結果では、前年度の算数・数学の授業において、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにした学校の割合は、全国と比べて、小学校調査において、14.6ポイント低く、中学校調査において、2.4ポイント低い。



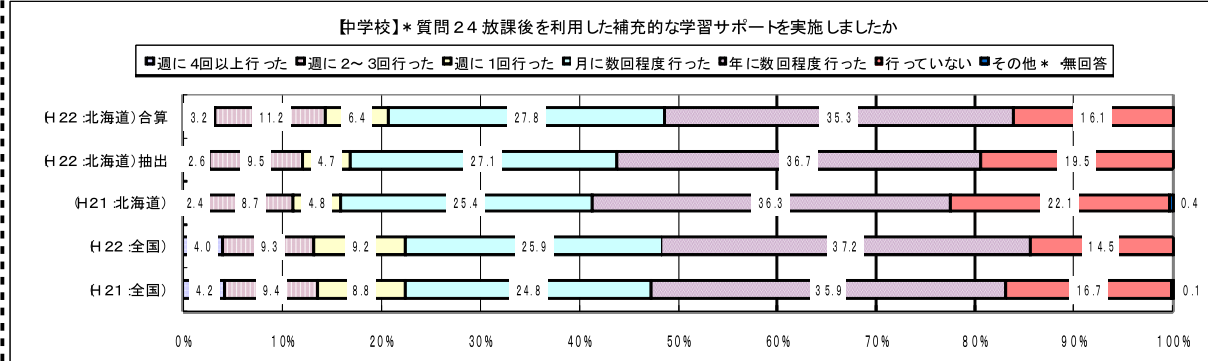
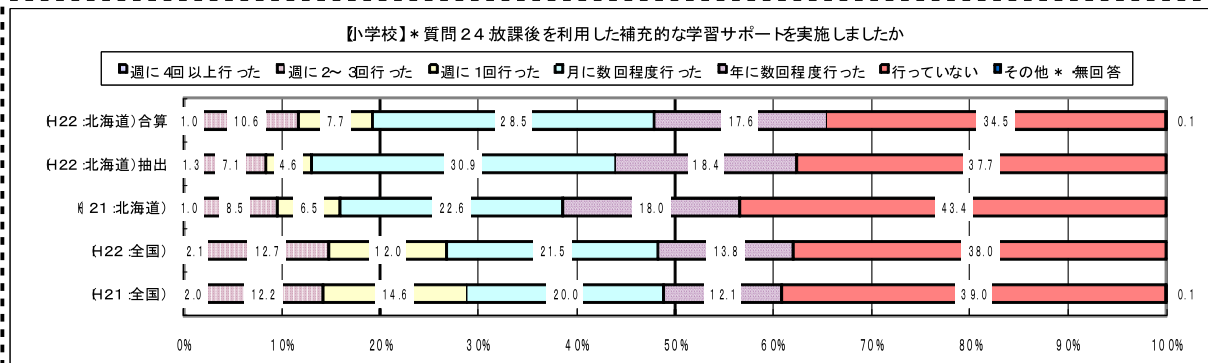
< 地域の人材の活用 >

○北海道(合算)の結果では、PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれる学校の割合は、全国と比べて、小学校調査において、同様の傾向が見られ、中学校調査において、3.5ポイント低い。

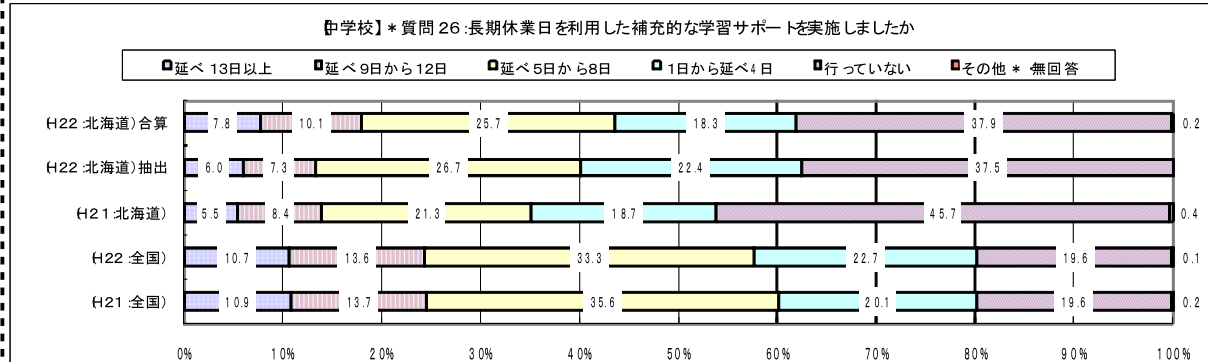
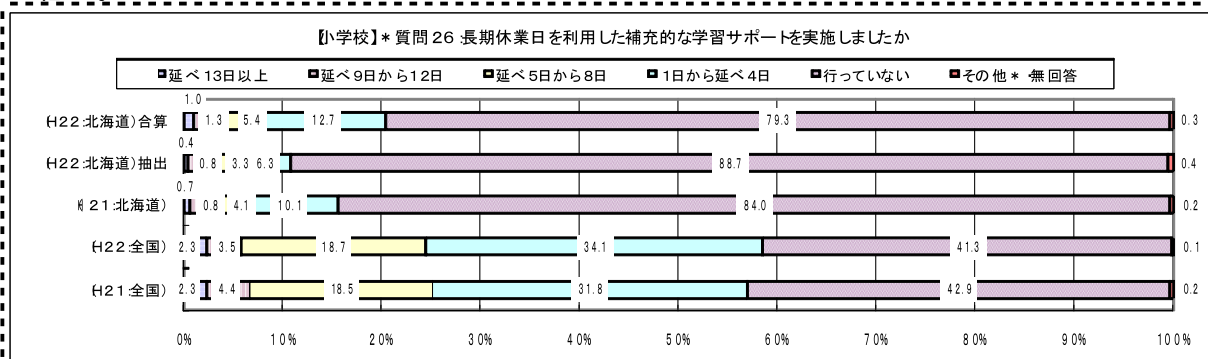


< 学習時間等 >

○北海道(合算)の結果では、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施している学校の割合は、全国と比べて、小学校調査において、3.3ポイント高く、中学校調査において、同様の傾向が見られる。

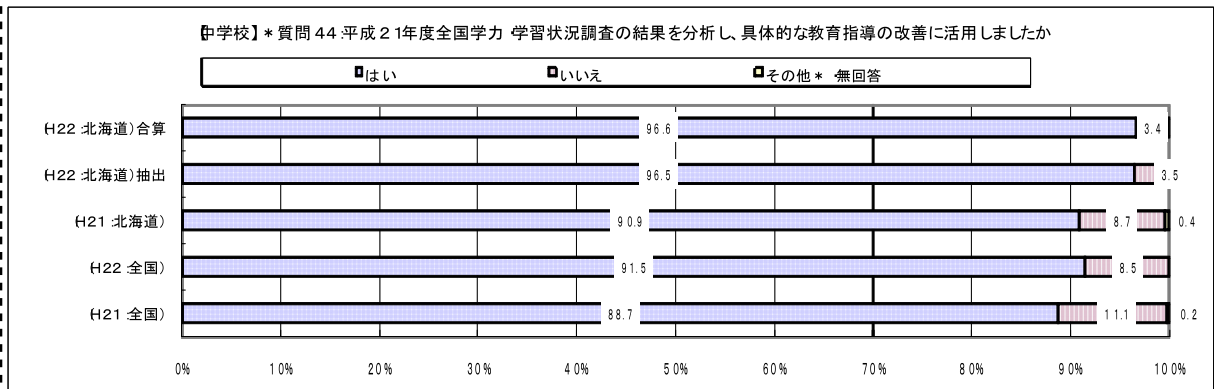
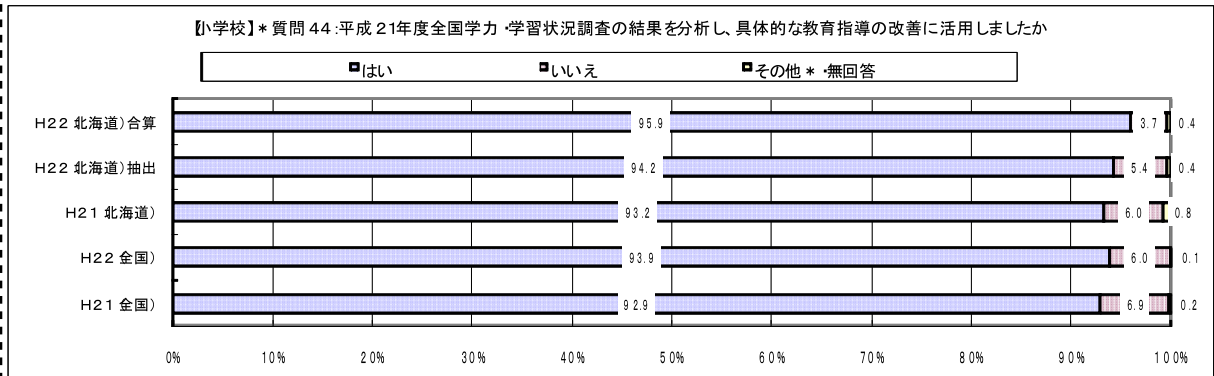


○北海道(合算)の結果では、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施している学校の割合は、全国と比べて、小学校調査において、38.2ポイント低く、中学校調査において、18.4ポイント低い。

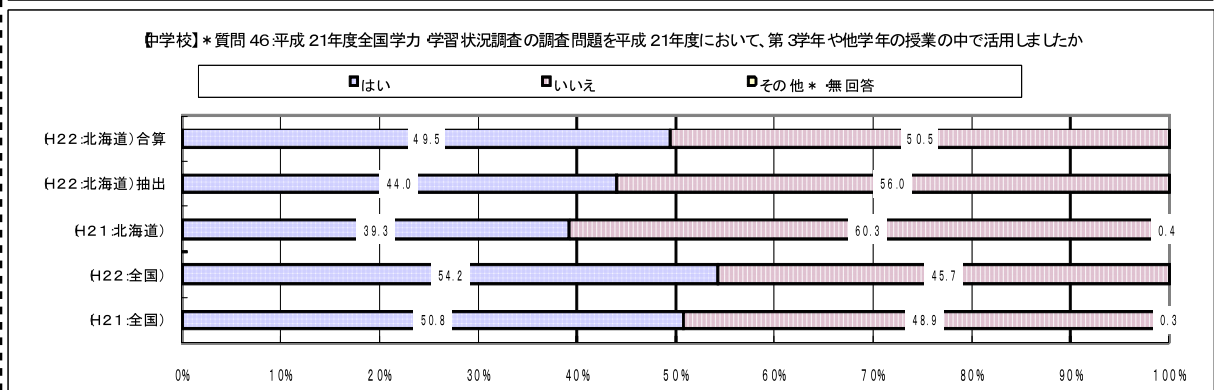
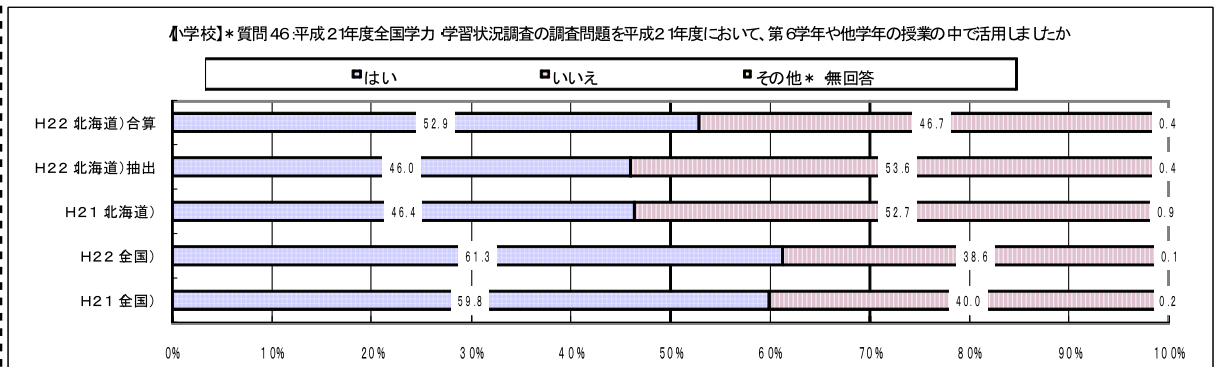


<全国学力・学習状況調査の活用>

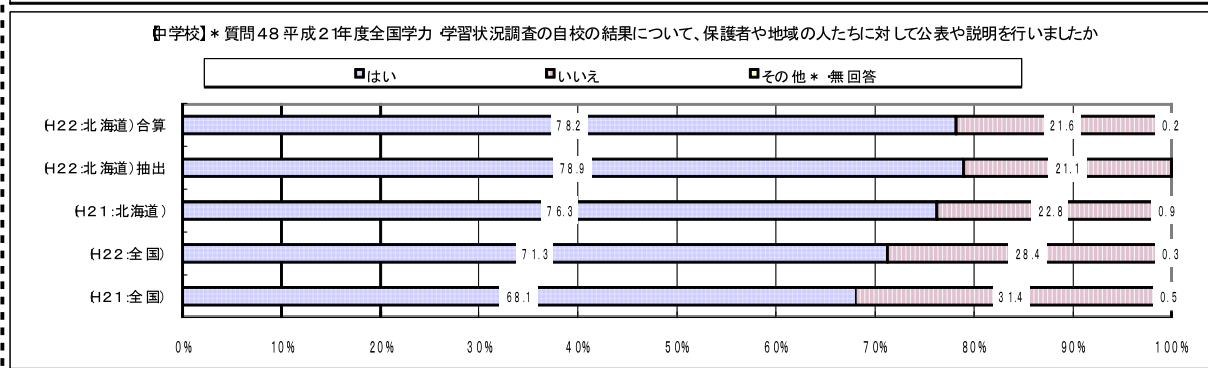
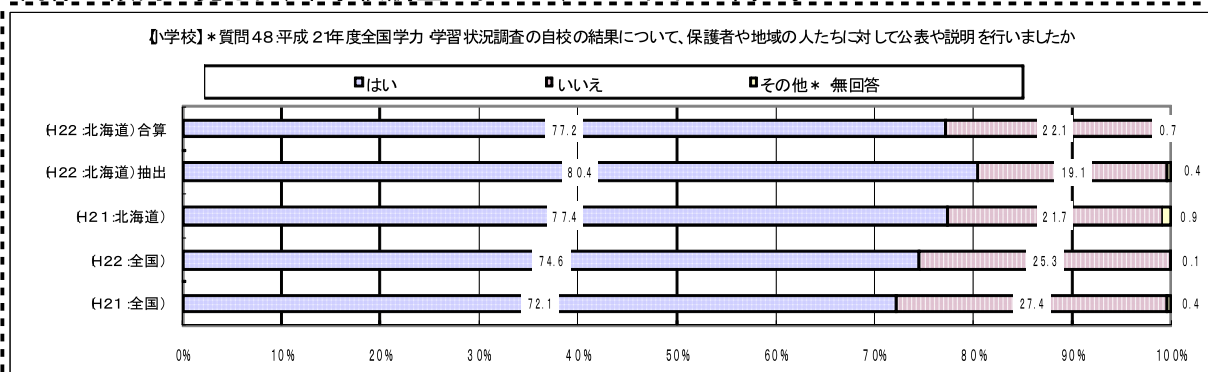
○北海道(合算)の結果では、全国学力・学習状況調査の結果を分析し、具体的な教育指導の改善に活用した学校の割合は、全国と比べて、小学校調査において、同様の傾向が見られ、中学校調査において、5.1ポイント高い。



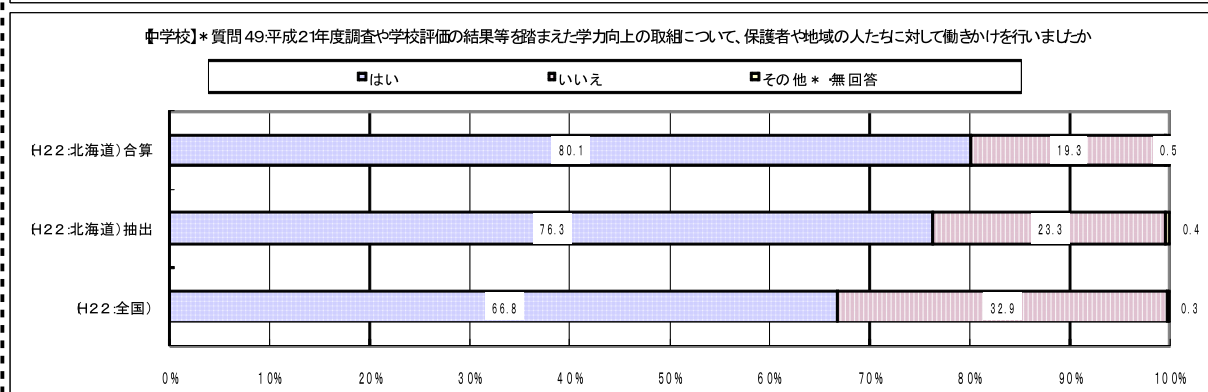
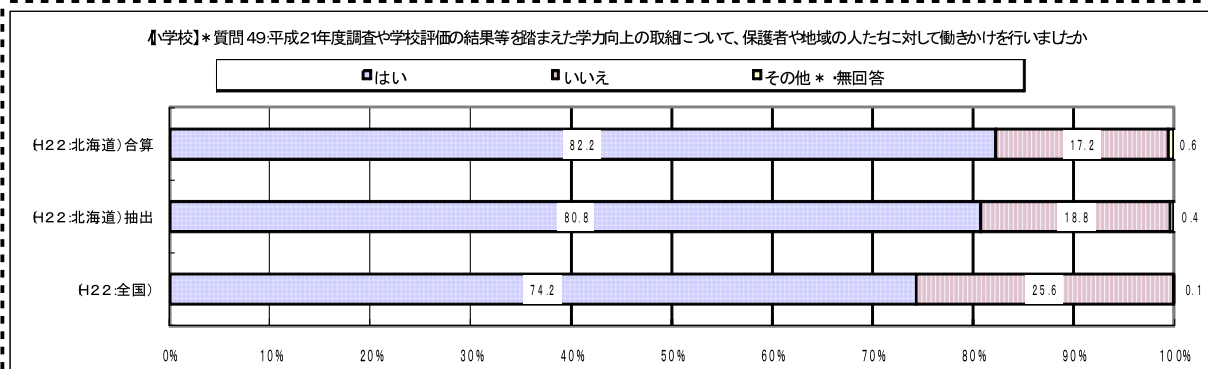
○北海道(合算)の結果では、全国学力・学習状況調査の調査問題を、授業の中で活用した学校の割合は、全国と比べて、小学校調査において、8.4ポイント低く、中学校調査において、4.7ポイント低い。



○北海道(合算)の結果では、平成21年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行った学校の割合は、全国と比べて、小学校調査において、同様の傾向が見られ、中学校調査において、6.9ポイント高い。



○北海道(合算)の結果では、全国学力・学習状況調査や学校評価の結果等を踏まえた学力向上の取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行った学校の割合は、全国と比べて、小学校調査において、8.0ポイント高く、中学校調査において、13.3ポイント高い。



< 教職員の取組 >

○北海道(合算)の結果では、学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組に当たっている学校の割合は、全国と比べて、小学校調査及び中学校調査において、同様の傾向が見られる。

